

消える、現れる、変身する!妖怪影絵誕生!!

妖怪影絵劇 ゲゲゲの鬼太郎



鬼太郎たちの妖怪世界は、
私たちに、忘れかけていた
大事なことを教えてくれます。

原作：水木しげる
協力：水木プロダクション

©水木プロダクション

Produced by
鬼太郎影絵劇

变幻自在の妖怪たちが、「」



妖怪影絵劇 ゲゲゲの鬼太郎 ～あらすじ～
怪しげなおじさん、骨董屋に鏡を持っていくように言われたユウトは、いろいろなものに興味深々だが、そんな中、店の隅に座つて、妖怪たちが欲しがっているのは人間の心を助けようと鬼太郎と仲間たちが立ち上ります。自分も妖怪たる人間たちの味方をするのか?ユウト(人間)と鬼太郎(妖怪)の心

妖怪影絵の 魅 力

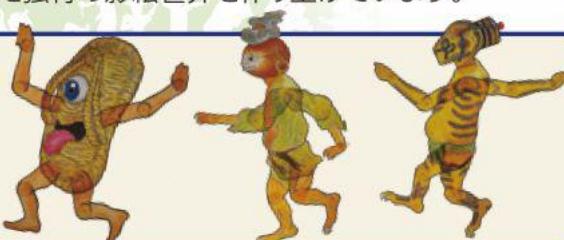
動物の皮を使った影絵劇は、その表現の豊かさ、面白さからアジアを中心に広く世界に伝わっています。水牛の皮を用いたインドネシアのワヤン、トルコやギリシャでは、ラクダの皮を使ったカラギョーズなどが有名ですが、2011年ユネスコ世界無形文化遺産に登録された中国の皮影戯(ピーインシー)が、その起源ともいわれています。劇団影法師では、30年前よりこの皮影戯(ピーインシー)の公演を続けておりますが、今回この妖怪影絵「ゲゲゲの鬼太郎」の舞台では、この技法を高めた独自の影絵世界を作り上げています。

■プログラム 上演時間：80分(休憩含む)

妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」…50分

休憩……………10分

不思議な音のワークショップ…20分



学習発表会のヒントになる、 不思議な音の体験ワークショップ

劇中に使われる効果音。演劇の世界ではとても重要な役割を果たします。現在は本物の音もよく使いますが、本物を超える素晴らしい効果音もあります。想像力が生みだす音を皆さんに体験して頂きたいと思います。



妖怪影絵劇「ゲゲゲの鬼太郎」



※公演終了後、不思議な世界のバックステージ見学あり。(影絵の仕組みをのぞいちゃおう!)



本当に大切なものの」を語りかける!



©水木プロダクション

美しい色彩

皮影戯に使用される人形は、牛皮に、細かく彫刻し、多彩な色を施した芸術的で美しい人形です。この人形を使った影絵は、従来の黒い影ではなく、息をのむような美しい色のついたカラーの影絵になります。



変幻自在

スクリーンに直接照明の光を照射し、人形を透かしだす技術や竹の棒による独特の操作方法は、上、下、右、左と、大型スクリーンの全面を動き回ることが可能で、消えたり、現れたり、変身したり、大きくなったり小さくなったりなど、日本にはない技法がまさに変幻自在な演技を可能にします。



生きている ような動き

素材に皮を使うことによって、丈夫で且つ柔軟な表現が可能な人形ですが、人形の首、肩、肘、手首、股関節、膝、足首などを細部にいたるまで、自在に動かすことが出来る仕組みの為、その表現力の豊かさと動きの繊細さは、まるで生きているかのような演技となって、観客を魅了します。

制作にあたり

下駄の音とともにやってくる鬼太郎。日本じゅうの悪い妖怪たちから人間を守ってくれている。ただ本当に悪いのは、妖怪なのだろうか? 妖怪とは何? 答えの出ない事を考えさせてくれるのが、漫画「ゲゲゲの鬼太郎」の魅力でもあります。この影絵劇では、妖怪とは人間の心。妖怪の世界とは目には見えない人間の心世界。こどもたちに、それが身近にある世界であることを感じてもらい、やしさやおそれ(畏怖)、妖怪たちが語りかける目には見えない"本当にたいせつなもの"を感じて頂ければと思います。もちろん、おなじみの妖怪キャラクターたちが、スクリーンせましと大活躍する楽しいお芝居です。妖怪影絵ワールドに、どうぞご期待ください。

●STAFF

原作: 水木しげる
協力: 水木プロダクション
演出: 劇団影法師演出部
脚本:さらだたまこ
企画・制作:劇団影法師

影絵は影法師

NHK「みんなのうた」をはじめ、あらゆるシーンを彩る影絵アート

劇団影法師では、舞台芸術の分野だけにとどまらず
1988年NHK「みんなのうた」の「夕焼け貝がら」を皮
切りに、2001年「パパとあなたの影ぼうし」「雪鏡」
2002年「夏恋花」等、数々の影絵製作を行う他CATV
「わらべうたシリーズ」、奈良県奈良市で開催された
【奈良シルクロード博】における大影絵館の技術協力
など、幅広いスタンスで活動を行っています。また、2004年には、東芝EMI「東京事変」(Vo椎名林檎)のDVDジャケットイラストを担当。様々なメディアに魅力溢れる影絵を提供しています。



影法師は永年の国際文化交流の実績に対し、2004年に演劇団体として初の外務大臣賞を受賞しました

劇団影法師は1978年に創立。既成の概念にとらわれない斬新なアイディアと新技術を導入した創造活動により、文化庁主催公演を始め、日本全国を活動の場として、精力的な公演を続け、日本の児童青少年演劇界をリードして参りました。

また、劇団創立10周年を迎えた1988年より現在に至るまで、国際的視野に立った創作活動を推進し、欧米やアジア各国を代表する13カ国の劇団と20作品にもおよぶ国際共同制作を行い、海外公演

も既に10数作品を25を超える国と地域において公演を実施しております。

これらの国際交流の功績により平成16年、劇団影法師は演劇団体初の外務大臣賞を受賞しております。今後も「活力ある舞台芸術の創造」を目指し、世界の人びとの芸術を通して相互理解を深める心の架け橋となることを願いながら、活動を続けて参ります。

影法師の 数々の 主な受賞歴

●日中合作皮影戯特別公演「西遊記」

- ・東京都優秀児童演劇選定優秀賞
- ・(公社)日本演劇協会優秀賞
- ・(公財)都民劇場優秀賞
- ・平成19年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品
- ・厚生省中央児童福祉審議会推薦作品
- ・平成23年度文化庁次代を担う子どもの文化芸術体験事業採択作品

●日中合作大型人形劇「三国志」

- ・東京都優秀児童演劇選定優秀賞
- ・(公社)日本演劇協会優秀賞
- ・(公財)都民劇場優秀賞
- ・平成20年度文化庁本物の舞台芸術体験事業採択作品
- ・厚生省中央児童福祉審議会推薦作品

●スーパークゲエ「竹取物語」

- ・文化庁優秀舞台芸術奨励事業公演採択
- ・文化庁主催こども芸術劇場採択

劇団影法師の主な作品

～斬新な企画と想像力～



音楽物語

● ● ● シミー ● ● ●



日本・カナダ国際共同制作

● ● ● 氷山ルリ ● ● ●



日中合作大型人形劇

● ● ● 三国志 ● ● ●

120cmを超える大型人形たちが見せる壮大な歴史絵巻



音楽物語

● ● ● モチモチの木 ● ● ●



日本・東アフリカ国際共同制作

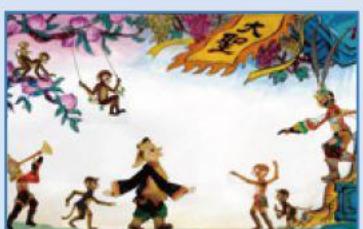
● ● ● アフリカの風 ● ● ●



日本ASEAN6ヶ国6団体国際共同制作

● ● ● プリズム ● ● ●

アジアの新たなる舞台芸術の発信!



日本・中国国際共同制作

● ● ● 西遊記 ● ● ●



スーパーカゲエ

● ● ● 竹取物語 ● ● ●



大型人形劇ミュージカル

● ● ● 里見八犬伝 ● ● ●

ジェームス三木脚本/演出/作詞!津身の一作

公益社団法人 日本劇団協議会加盟／日本児童・青少年演劇劇団協同組合加盟

お問い合わせ▶(株)劇団影法師 国内 0422-54-7770(代表)

FAX 0422-54-6070

〒180-0012 東京都武蔵野市緑町2-1-5 http://www.kageboushi.com E-mail : office@kageboushi.com 北海道・東北オフィス TEL.022-309-3944 FAX.022-309-3945